

「あおいほしの あおいうみ」

学校名:奈良県立国際中学校 名前:松本真紀

対象 中学1年生

科目 グローバル探究基礎

時間

参考資料

『あおいほしの あおいうみ』
本校図書館蔵書ほか

単元名

目標

- その1 うみと自分とのつながりを考える
- その2 未来に残したい海のすばらしさを探究する
- その3 持続不可能になっている海の状況とその原因を探り、自分たちにできることを考える

期待できる学習効果

- ・「うみ」に興味を持つ、本をきっかけにさまざまな視点から「うみ」に親しむ
- ・自分の関心ごとを知り、さらに探究する力をつける
- ・自分の関心ごとや探究について人と共有することができ、仲間の関心ごとを共に楽しむことができる

授業内容

3学期「あおいほしの あおいうみ」 海とのつながり・持続可能性について考える

1時間目 A組6日 B組10日	10分	「あおいほしの あおいうみ」の読み方を説明(スライド) 項目について紹介 さまざまな視点で「海」を見ることができる 自分とのつながりを意識する 自分が「おもしろい」「深めたい」と思ったこと、特に、 「未来につなげたい海のすばらしさ・おもしろさ」 「未来につなげたい、私たちに必要な海」 「未来につながれない海、私たちができること」を視点に探究する 本日と次回(13日の最初の20分)で1枚の用紙にまとめる(手書き) 13日の最初10分で共有会(用紙を持ってファミリーごとに説明、質疑応答) 全ての用紙は回収し、展示することも伝える
	30分	「あおいほしの あおいうみ」、画用紙を生徒に配布 それぞれに探究を進める * 図書館が空いていれば図書館、クロムブックOK
2時間目 (13日)	10分	説明と準備
	20分	共有会 4人1組のファミリーを作り、それぞれ生徒はひとり5分程度の発表と質疑応答を行う
	15分	チェックシート説明、記入

共有会后、用紙を回収、全て展示を行う

「あおいほしの あおいうみ」

学校名:奈良県立国際中学校 名前:松本真紀

授業内容2

- ・ 生徒たちが自由に「あおいほしの あおいうみ」の本を読み、自分の興味関心を探ることができる時間にした
- ・ 3つの視点のいずれかを意識して探究を進めるように伝えた
「未来につなげたい海のすばらしさ・おもしろさ」
「未来につなげたい、私たちに必要な海」
「未来につながれない海、私たちができること」
- ・ 授業実施の場所を図書館にし、図書館司書が海に関する本を集めて特別展示を行なった
- ・ 次回授業までに本を数冊教室にも置き、自由に読めるようにした(2クラスで本を共有したため)
- ・ 全ての発表を聞く時間は取れないため、後日全ての用紙を一斉展示予定

子どもたちの反応・感想

- ・ 時間が短かったが、それぞれが創意工夫した探究を行い、異なる関心ごとの発表を楽しんでいた
- ・ 海の生き物に関する探究、環境問題に関する探究が多かった
- ・ 対馬の取り組みに対して、やってみたいと思った生徒もいた

【生徒の意見や感想】

- ・ 奈良県には海はないが、川が海とつながっていたり、自分たちがもしゴミを捨てたら海にたどり着くかもしれないので、できることはあると思った
- ・ 漁師さんが減っているという記事を読んだので、魚がなくなったら困るし、自分たち世代が漁師に興味を持てるとしたらなんだろうと考えた
- ・ さまざまなリサイクルについて調べたので、いろいろ紹介したり、やってみたいらしい。
- ・ 海のエコラベルなどを調べてみた。知らなかったが、今度買い物について行って、実際の商品を探してみたい など

1時間目



2時間目

